

## 原稿執筆要領

1. 投稿原稿は、ホームページからダウンロードした「論文作成用ファイル」を用いて作成する。用紙はA4判縦置き横書きで、1 ページは1,200 字（40 字×30 行）である。原稿は次の構成要素順で並べて、1つのファイル（以下、「論文ファイル」という）にまとめる。なお、以下の各要素の初ページは本ファイルに組み込んであるので各要素間で「改ページ」操作は不要である。各要素初ページのヘッダー指示に基づき記載する。また、編集上必要なページには、左欄外に行番号、右下にページ番号が自動的に付されるので著者の配慮は不要である。
  - 1) 論文題目（和文・英文）：1 ページ分を使用する。
  - 2) 和文要旨とキーワード：1 ページ分を使用する。和文要旨の最後に、改行してから3つ程度のキーワードをつける。
  - 3) 英文要旨と Key words：1 ページ分を使用する。英文要旨の最後に、改行してから3つ程度の Key words をつける。また、投稿前には英文校正を必ず受けること。
  - 4) 本文
  - 5) 謝辞・研究助成・利益相反
  - 6) 文献
  - 7) 表（Table）：1 ページに1点ずつ書く。
  - 8) 図（Figure）：1 ページに1点ずつ書く。
2. 外来語はカタカナで、外国人名、日本語訳が定着していない学術用語などは原則として活字体の原綴りで書く。句読点は「、」「。」とする。
3. ナンバリングは、章：I. II. 節：1. 2. 項：1) 2) 以下：(1) (2)、  
箇条書き：① ②とする。
4. 論文種類と文字数は下記表のとおりとする。

原稿の種類	最大文字数	要旨	図表数
総説	12,000 字	和文要旨（400 字程度） 英文要旨（200 ワード程度）	合計 5 点まで 1 点：400～1,000 字
原著論文	16,000 字		
研究報告 実践報告	12,000 字		
レター	6,000 字	不要	合計 2 点まで 1 点：400～1,000 字
その他	12,000 字	不要	合計 5 点まで 1 点：400～1,000 字

5. 和文要旨と英文要旨はその言語の特徴に配慮して別々に作成する。英文要旨が和文要旨の訳文である必要はない。

6. 図・表（写真は図として扱う）は、本文と別のページに図 1、表 1 のように番号をつけ作成する。ページ上部に論文タイトルを明記し、図・表のタイトルは原則として表は上に、図は下に記載する。その際、いずれも A4 判に印刷する際の希望サイズに概ね合わせて作図、作表する。また、図は pdf または jpeg、表は word または excel で作成する。
7. 本文原稿内に図・表それぞれの挿入希望位置を朱書きで指定する。また、投稿原稿の 1 編は本文、文献、図・表を含めて所定の総文字数以内とする。
8. 文献の記載方法は下記に従う。
  - 1) 文献の引用は、番号引用形式とする。本文中の引用箇所に関連番号を上付き書式で付す（例：小倉<sup>1)</sup>の調査によると…）。本文末尾に題を「引用文献」として、番号とともにリストを作成する。
  - 2) 同じ文献を引用するときは、最初に引用した番号を利用する。
  - 3) 文献リストでは、引用文献の著者が 3 名の場合は全著者名を記す。4 名以上の場合は、筆頭者 3 名までを挙げ、「他」（和文）もしくは「et al.」（外国語論文）を記す。
  - 4) 外国人著者名は、姓、名の頭文字の順に書く。
  - 5) 副題がある場合は主題と副題をコロンで区切る。

#### 【雑誌論文】

雑誌名は、和文・英文ともに省略せず記載する。

引用番号) 著者名. 論文表題. 雑誌名. 出版年, 巻(号). 論文の初ページ-終ページ.

—例—

- 1) 小西恵美子. 医療現場における放射線と看護師のかかわり:その現状とあり方. 東京医学. 1988, 95(4). 372-378.
- 2) Sedhom LN, Yanni MI. Radiation therapy and nurses' fear of radiation exposure. *Cancer Nursing*. 1985, 8(2). 129-134.

#### 【書籍】

編者には“(編)”を編者名の後に付記する。書籍の特定部分を引用する場合、所在ページを明記する。表題に章番号などが書かれている場合はその章番号を省略する。

引用番号) 著者名. 書名. 出版社名, 出版地, 出版年.

引用番号) 著者名. 論文の表題. 編者名(編または ed./eds.). 書名. 出版社名, 出版地, 出版年. pp. 初ページ-終ページ.

—例—

- 3) 齊藤万比子. 発達障害が引き起こす二次障害へのケアとサポート. 学研教育出版, 東京, 2010.
- 4) Holland J. *Lung Cancer*. Oxford University Press, New York, 1989.
- 5) 黒田裕子, 前田 潤. 災害が人々の生命や生活に及ぼす影響. 酒井明子, 菊池志津子 (編). 災害看護 (初版). 南江堂, 東京, 2008. pp. 90-91.

#### 【翻訳書】

著者名は原名か英語綴りで記載する。

引用番号) 著者名. 原書名. 原書出版社, 原書出版地, 原書出版年. (訳者名訳. 訳書名. 訳書出版社, 訳書出版地, 訳書出版年).

—例—

- 6) Northouse PG, Northouse LL. Health Communication: Strategies for Health Professionals (2nd ed.). Appleton & Lange, Connecticut, 1992. (信友浩一, 萩原明人訳. ヘルス・コミュニケーションこれからの医療者の必須技術. 九州大学出版会, 福岡, 1998).

【電子文献】

引用番号) 著者名. 著作名 (検索日 検索年月日). URL

—例—

- 7) 日本看護協会. がん放射線治療法看護の認定看護師登録者一覧 (検索日 2012.10.10) .  
<http://www.nurse.or.jp>